

仏国MOX燃料製造工場内に保管中の当社向けMOX燃料の 再検査の完了について

2012年6月25日

浜岡原子力発電所4号機用のウラン・プルトニウム混合酸化燃料(MOX燃料)の製造会社であるメロックス社(仏国)の製造工場において燃料集合体の保管エリアの一部に放射性物質による汚染が確認されました。同エリアで保管されていた当社向けの燃料集合体4体についても汚染の可能性があることから、GNF-J社およびメロックス社と協議の結果、当社向け燃料集合体の品質に万全を期すため、解体して除染し、再検査したうえで組み立てることとしました。

([2012年4月20日](#) お知らせ済み)

このたび、燃料集合体の解体および除染をおこない、再検査を実施した結果、全ての燃料棒について品質に問題がないことを確認しました。また、メロックス社による再発防止対策が適切に実施されていることを確認しました。

当社が現地にて確認した内容

1. 当社向け燃料集合体

当社向け燃料集合体の解体および除染が定められた手順に従って適切に実施されたことを現地にて確認しました。また、再検査(燃料棒の表面に汚染がないことの確認および外観の確認)を実施した結果、全ての燃料棒(240本)について基準を満足しており、品質に問題がないことを現地にて確認しました。

2. メロックス社による再発防止対策

当社向け燃料集合体が保管されていた保管エリアの汚染は、欧州の顧客向けの燃料集合体の組み立て作業における放射性物質の汚染によるものでした。このため、燃料集合体の組み立て作業における汚染発生の再発防止対策が適切に実施されていることを現地にて確認しました。

今後、メロックス社の製造工場において、当社向け燃料集合体の組み立て作業をおこなってまいります。

引き続き、品質管理を適切に実施するとともに、組み立てた燃料集合体については仏国にて適切に保管してまいります。なお、日本への輸送および使用の計画については未定です。

- ・浜岡原子力発電所4号機で使用するMOX燃料の輸入燃料体検査申請(第2回製造分)について
([2010年4月26日](#) お知らせ済み)
- ・浜岡原子力発電所4号機で使用するMOX燃料(第2回製造分)の製造開始について
([2010年7月8日](#) お知らせ済み)
- ・浜岡原子力発電所4号機で使用するMOX燃料の輸入燃料体検査申請(第2回製造分)について
([2011年2月28日](#) お知らせ済み)
- ・浜岡原子力発電所4号機で使用するMOX燃料の輸入燃料体検査申請(第2回製造分)の内容変更について
([2011年10月27日](#) お知らせ済み)
- ・仏国MOX燃料製造工場内に保管中の当社向けMOX燃料の再検査について
([2012年4月20日](#) お知らせ済み)

以上